校内研修等の工夫（令和６年1月26日）

佐伯市立渡町台小学校

取組概要

渡町台小学校では、「子どもが『活動したくなる』『表現したくなる』単元構成と指導計画（指導と評価の計画）の工夫～生活科・総合的な学習の時間を中心として～」を研究主題とし、生徒指導の３機能を重視した学級経営及び授業づくり、付けたい力（資質・能力）を付けるための単元構成と指導計画を重点に実践研究に取り組んでいる。
１月２６日は、提案授業４本（１・２・３・５年）、愛知教育大学の加納教授による講演会を実施した。

「渡町台３－２「！」「？」新発見！～小単元３　地域の人に『！』お披露目会をしよう！～（総合的な学習の時間）

子どもたちの地図に載せたい情報を全て詰め込んだ情報満載の地図について、既存の観光マップやウォーキングマップと比較したり、関連付けたり、学級で決めた視点を根拠に吟味したりしながら友だちと話し合うことを通して、載せる情報を取捨選択し、よりよい地図への改善につなげられるようにする。

情報満載の地図を見たり、「！」を目立たせたり、不必要と思われる情報を削除しようとしたりして、よりよい地図にするために話し合ったり動化たりしています。

「あたらしい１年生に学校のことを伝えよう」（１年生活科）

新しい１年生に「自分が伝えたいこと」について、互いの考えを聞き合ったり、自分の経験とつないだり、自分たちの考えがまとめられた板書を見て交流会当日の様子を思い描いたりする活動を通して、「自分が伝えたいこと」を見直すことができるようにする。

「共感」をキーワードに授業を創っています。新しい１年生が「にこにこ」になるために伝えたらよいと思うこととそのわけを出し合い、聞き合っています。

校内研修等の工夫（令和６年1月２６日）

佐伯市立渡町台小学校

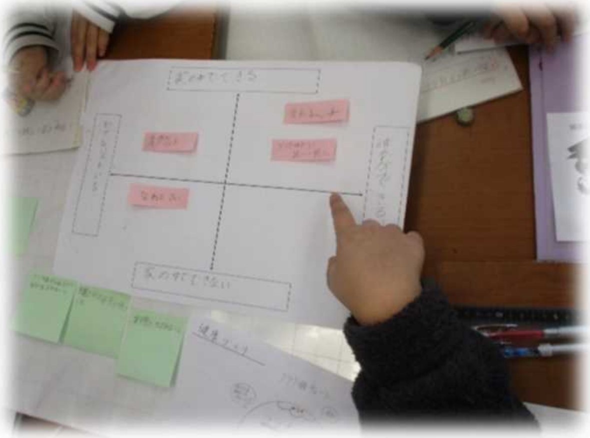
「自分たんけん」（２年生活科）

自分のすてきや成長について、友だちからもらった「ホメホメカード」を読んで思ったことを出し合ったり、「ホメホメカード」に書かれていた内容をワークシートに書き加える活動を通して、今まで気付けていなかった自分のすてきや成長に気付いたり、自分のことをもっと知りたいという思いをもったりすることができるようにする。

友だちが書いてくれたホメホメカードを読んだり、自分で見付けた成長と比べたりしながら、今まで気付いていなかった自分の成長に気付いたり、自分のことをもっと知りたいという思いをもっています。

「渡町台えがおプロジェクト　～５年生の力で校歌３番をプロデュース　～小単元３　渡町台なかよしフェスティバル大作戦～」（５年総合的な学習の時間）

渡町台なかよしフェスティバルでの１組ブース「健康づくり」の具体的な内容について、個人で選んだ活動案を出し合い、思考ツール（座標軸）を用い自分たちで定めた視点に沿って話し合うことを通して、これまでに集めた情報を根拠にして条件に合うものを検討し、次の課題につなげることができるようにする。



地域の人たちにもっと元気に・笑顔に・楽しんで・喜んでもらうための活動案を自分で決め、視点に沿ってグループで話し合います。「相手のことを考えて活動案を立てることが大切だ」等、次につながる重要なポイントが見つかりました。